









水福華松 近葵春 月前 湖 五年实恋 江上霞 江寒芳 述 懷 月 りいうなさいんとまるするちんふみかう あるいんなうかかりきことものいいかちょうつかん 社だいますのいるまでなんたふうはいて 野のするでなけるう ちゃところうかのいるとうまとかろうもかのなくはちとて ですられるできるとうなっているよう むってからいのかったっちゃんでするか ちあから 〇三 島 江 抵津島上部 ○真野入江近近西賀郡 成る行 とそうかが ての必ぶるで見えなり こうかる 五字 人のけるみ 6 馬水 榜館 重 芍 事 作品 産品 法样比 极 孝 壽 编 子 好

.

海 江 油 浪 江上霞 江 VI T 浦 上月 19 扶 盛 霞 あいるなかってもののまでい 行のまからさきえんなるできるからのからからから ちろうとおうるかぞうてもはもはんところう 他によべたのかす おきるなるのとなるとなって かでを月かる湯 うちなはなるところとうころのりとれから ちたんなできせいのうきものほるれのよの月 〇玉出島 江 紀伊海部郡 難波 江 经神西成界 くなるでするのはいるよううゆく のあるなるできていたかりうれ で気があれる かかれてれてる S.Nes か 克 名ニ下ノー 天野 德 なかつ子 夫野 干 中野真教具 去 着 速^田武地内 真 雄 滋 鄉

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

池水鳥 池 寄水祝 垣津族 一時来 神のなっと思って からくともからのはまさくころはずなられかりの うなやるのはのながっさわってりまであるこうことのなると たちもの後の北きらくめないとめくらのす む月のなったとてでかれる 〇太田澤 ちかくなるとうるはいかったから 植安 を他やが 可池河平群郡 池 大和十中那 山城愛宮郡 とうないとなるから うなようにからかく ふそかりるるき まむなう なの 茂雄 清

松上霜 見 舊 虫 子 恋 浦 识 Ħ 続いかんのい おきられるためよりののあるとなるめいしくれい自うか ふさてかはさかといろうか からなりはまる場のちゃかまってしかにまるいれ る一時村か からいっと も国はなるとはいてきむるなとかけるれのくしろう 住 されたまでは月下 かくこいかせのろうなと VI 澤 駿河富士即 沿 问 陸與安積那 住古 のいのわいかるう んないのれないかつ むるおかり ゆっけてくろ 老下り二 横田殿正 三本 春

たるとうとゆるつとからきてとてぬてもり対応をも から門花のならいするといのなとをはんっく 俊門 のだろう 神門 正 雅

一月のかかという。子 不 忍 池 あきたのとうかるあかと かられるるころくかとるおっち ものの古りれるする 老丁万三 級 廣足 臣

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

春一 春新 水辺董 田上鳴 春 名所吹 地はいるい れるからなはなっくうないでもうかでしているろう るのできるところとおきできる井にているからかからうか 水できかいろうらのかというけんえてるのかできているうとの 里とはころうとのサスを出るのであるとうであるも やくろりるというのかしるなるろけからうと 子はよりののかのなるようない方をものかかう 〇縣 井户 〇滴田井 明明 日香井 大和高市即 のいけてはる 阅愛客即 常陸鎮波都 うる罪行いたか 大艺 からい 植出出 えは えな 聖報 忠 易 産 頭 离 奥

.

寄井恋 夏井 寄水感 ないてうあいってはのは国中人とう あるといいの中のあとのかくれがあるとうらてはなくくう やすのくのかのきしつことといいしのくのかけをえんあれ ちゅうへのそののは、ろうであせてきなっていっとはっちんい からてはいいといるあろいでちることが井のこつ むとおりなかかかかからいとくまうなるよりであり かといずくもつきるになったうかるおうるである水 〇田中井戶 〇山邊鄉井 伏見田井 紀伊非貨郡 伊勢鈴鹿郡 山城紀伊郡 德 林 金丁四 其 E 土. 唐 圖 生

前無 温 方 水 泉 あることとうできるかかられるよう 巧感を生 ちりるので かくはってけるというなどもからはらけれていてるできた まってもけのか 〇 歲 ○解清水 经海賀 ○有馬湯 根申有馬罪 んといりのまとうてもなっても 野 漫 つかとうなけってい らなりのおかろのちゃ 紀伊羊要即 うろからふつらてき Parpert Per つくなるな からっつ おもないと Tr 河沙 女法 景久 水章 惠 信 能

者所 名所姓 放生會 臨時祭 鎮大僧正六有年の忌か いちりつくちらかけですぞとのかにあるかのかかろうか 気性かとうちからかれなるでるかのでするない はるこのでのですかっ はいいかれをまにとうけてをにとてついまるがも にてつているで かりせるさいからからための名はいるをなる 〇石清 水山城銀喜那 〇雕清 〇吉 水南同郡 同 爱宏郡 行うはいれていたとう るない くとけいがろれ 先殖 不平 協 また 为 五 彩 EX. 5

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

寄都祝 むくこんが大方人でするなととあらのなるからうころ あらいあるときまちはらんからはっちりぬかのから おうといのようだけのうしいめていとうちょ 山なられらくとからいきもいちっとして死の者とん ○長 問都 山城山湖郡 〇本 良都 大和器上年 うるなべないろんと 瀧 かられるとではす うかられる月のちものべるとのもあれ 都 大和告野群 らむおとなると 宏手 봉 古墓 格

花路 温 高都恋 大街代新 できていたけいか ないからついまするですって ないといいまかかかかるころう 人でふるころうまくいろまくいいとることでしていり いてもっているのけるますつととてあるいれるちょうん やしてそのもんです かとの本のおととかでとうことろうとうらうちから 〇平 安都 都場愛客牌 よっていいつきたのかとなってかっせい とするはるとういろうゆくかのようと をあたから 行わずなさらい 平安都三名 學學 場のま 為大學 是相子 老丁六 É

宫 うのとなるか としまとうなったとうにいるのからすかる もかちけどを ちょうなかってはることであるとははるある おらばのはっていた のより 明いのはき ときなられらいとうなってあることうでれるか 紫香樂宮近江中 ようなないこのと 宮川高市即 \$ みりん 村骑 景 李 海

故宫月 故 鉀 ちんないことのす ちのへのかとううちはそうないかっているいかとうちょう ちゃっとしてきないとありんかきはそうなの上す かって ないなっていていてのかけますとという 大和吉野郡 あるのうななるという 山城愛房即 平安都三一名 近江志賀那 あってあらのはのうろかな えるとのうなのみのの見 七日 名でと ES: 芳清 高 尊怪 長帽子 E 笔 3 雅

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』



けるるかきゃちなんのは 一人後紀朔天皇の所居か とうだるこのそくけるのみろうろうちゃくるる の場のをえ 山陵大和吉野都 然三加方及王の仲妻。房物人後也 本れはは 有度 哲聖路 襲

そうかずんのみをおられ) 益 置 田田 でのはかす 信懷能學即 金万人

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

間南きの小野るの名をかりる ショ 本和寺の楊若塚了 そからずにかかけるなりなる からいったのまちっけるていからりとにゆるとけるか 小松日易墓山城愛倉那 梅若磨塚或我為新 他できる いいもつとして なはないまって となるといる ちろんかるわ 有官敬 老梅 題忠 千幹

神街天室の市後上す たったいないないるないできてけるるっちる いないといるかりるける こまの送り後をせららてなられてますせのとなったか 核 ○白梅尾上山陵大和萬市郡 めとのかはそのとおうれいはととというちなみさせか 平知章朝臣塚 根非八部那 らっとかまけ 我後守かる 金とくへ 合うななとそつと人様けらい 地路のある うなとこて 高下九 新 豊報 久光

あらず まれればの捕獲るち 13 及守墨南君の七十分なれ十年女上の書 名かおはいいますったっちありつきてくちは するかでかいからかとけているから 〇紀國七郡 留留 なられなるむとうると やるるなかないできるかはる に精枝のみは くろうなんのか

桶 河内心通客する一張家府軍の民奉うす 次治在年本さらか やっきいつではちはあのけるのはあのはいまえからくと 京はをりうなしきるで 世の中とうちきり万ちまったりたときであるれいうせ おう程をなとことが大きのまむをなるいろくれん 星人のかったくうとうないととろの大は 少原義家朝臣墓 河内市都 源教完朝臣墓 尾張如多亦 重五幅八件 ももれらっていてころ のあくつきまとうくて 名三万十 北十州 信友 獲 足

里致雨 窦 名形月 里炉花 放御花 名所檢 名所里 水 押 えばれからをな 中心である日本を対よさけるな 利かられないまなているす きょうとようだべおいろとさるんとやなるのかとれなるまと 水がきろうらませるかく 〇吉 野 里大和去野都 月のからのまでは一个主 〇笠維 てむいまとっちいるかれる 里美濃安八郡 そうれったがきときくないます であったどとうな ちかっちょうちゃそろう おいまないる くおそろうさく かられいちゃ みずる 官下 松門 去 多 Œ 利

里梅名 間 佐の後の七十つ 焼き込て行うとして水ぎのとなったくなくけ わつきちまするとさろのいはやす いからものおかさいまとることといのあるとちちも 古川のよまのさ できんないろんえついまのとのるかったけっ 〇两屋縣 山城宇治即 ちのかつしのずのかいしかりにと 入 間 里 去藏入向郡 里山城苇野郡 き込んさ かかか 老二丁土 变门 長市子 内法 十五 篞 34 胜

芝海雪 名府月 里表月 か 国民所から 中からちょうつきとおかで使すとのよべらかしていく あるよけいかにないまでち 山きのいれるのおのよろようも あのなってもさって かねのないとうとうむけつとなるつきとないと 芝里武蔵豊為那 里 大和逐上郡 の物本は五下ではきてそける されているのは 1000 2352 TE. 景 秀

如 似花 里梅冬 越遺火 名船衣 虫 おそうでからいれろうまではらしきないあるさと たまりできるいいいとうっちゃったいつなるのから おうつきもものでのほう田まちゃあいるころのうしか ならずありまくなっきゃんだけ りかいさけるは行のからいまとれ E するとうできていてかゆうつきなるそので 高 夜寒里尾張愛智郡 川里無津島上郡 安 さきられならなよらいはいちにうちらか 里河内高安郡 なるのり 光 正 名二下古 成で重 祠 光

地行りませてか ついの付きかときゃい ではる時 そめいる 小田克 13 徳

春速情 梅っくいかけき 我随台作文学生等信息的教育了两次天文 う大田美味者要見いる 当とうちの内代を行のとるい 里倍震氣奉即 はおきるとの風でなる れるのけるかんの うべておはていること 発一下十二 £

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

大原女 里茂電 月前産 で 事女の子科 らうちきないけらいねのちつきらかができているちゃのを おきいまっているはって 大津里您亦質點 ~福 おうなかさいろううできてしなるのかと さそろがとう あかろうのか をなる 美 相当 安 章 叟 流 男

吹 は人のおうちはかきこれですけなかって 山のけってっきかってまてるれまので 百七 おいの状でれわけであるある水はすろうか 〇大 原 され 4.5 里山城爱宏斯 里山城縣事件 るにはもなけか 公在まり村七三世的松 なるないさ 花をから 本ニテナ出 多豆枝 京

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

秋等 山崎里 蚊造火 3 北度の長は秋美宝を一付き 子がのかはないればなるていますとすると ひいときゃくかっとっているというとなっている 哲 ちまれるのできるかりますというかけ さるとうなれるとうるだというとうちゃち 崎 好きまなるおほときすろんうと 里椿東古界即 大語といろうで しるなかやなりか AND SA 大 安 我仍 京节 被的 書店 英 炯

五 春 愈 大は為る記のる体 かつっていきはくえてきるとうなるいとなめつよくるらま人 ちゃ 多 をおってきかららうとれているかあるで見られること 必神人のでくろけらむはつきたってきなななとなるる 〇龍 そそのなくってなくんことかっとるちきない もる女の大はいろい なかむとういっているのかくとあるとうのひと 抽 出るかであってものかかくちゃころ 里若快速數那 里大知吉野郡 正本 果 133 寺 足 村 臣

名三下七五

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

夜馬衣 再納 ia 水門月 寄馬忠 里梅衣 口君 かりのさとむさいとするこれははあるるかすれたる みろなど対力さくちのりはふからや 人が思いるのからいてやりできるいいいていのはそうで からうかちのゆくちがからみれてものはかていかした 〇江 9 里 拼本面或指 係 里 大和平母郡 いるまでいたっところいろようの 播 里 ちゃんだされまれるとなき なさまる かかきるると うのかきる からかとしょう かきる 作院 有 此 較世 著石 朝 定家 班排

里 名野公 変 恋 里梅久 路 やえば いついてかかとありてある とから せついるないかないるなっていっというれ なりるといかからある まっていきていめるろ のできないのいできてある 里山城紅神即 里性與魔角那 の里地 古里名 名はそれなれる ふまからまもなる つの神布 高 あるむ 老司去 安田 型 聖 满 長 擊

里郭公 里京雨 里卯花 女月初了了了接着三万月日都去 ういかんとうかっきの豆のむすいなかっきっ のるかられけるないるのけいものついち う様わってとう あのなるないかないってす 原里山城邊當即 里武散新產點 そろろうちかをひちつと るないというかついるとする きつまめず 好好里 美 宜 兄 雅 龍

水門茶 夕帰 雪 天つたかんというなともうなのいるけられるとも 内でとうとうなのかれていてしつのでいてうまつい みあかいろうじまなって かろみ 〇三日月里橋磨衛即 ①美豆野里同級喜鄉 此白河里山城受害郎 するとうちったのとことらいかちのかん おかっていているおおう きんからきの かまのや 名干, 世 建筑 教養 ,E 果 その 然 展 梅 4

名听市 市 行路市 路雪 雪 はいまくのなるの場る すりまするまでものすんないそれでもがないからいのあるちのゆん ちらいかでかっているとうるとうであってや 大きてきまいろのとろくしかとまし そうるころであまいる 〇安 一路 唐 市 州岳贫唐即 部 市 殿河安福即 ふれるかるけると 七十七 起交 情島

舞 找 田の うちのかはなるならうるできる村山村ナ なっていまれのより よい世界のはいままからのかまううかりかられて 見からかってはころでかっ 足のおえふゆ きまの後るでつきおりまちのきち かつますんなすの 抽 を何のおそのでな ふきりようきでのまです のなかれる かる をデナ 聖寺 蹇唐 豐城 施

3> きる年の兵村ストナガラで るという 今ちんくまれいと思いて ものなき 〇高基 ふかてうるとがる そのおいれたけられてきてきる 寺山城瓊岩郡 であるななならとかかるなる をするは数古成陽言の私 ではなるですちょうる それであるかる 長帽子 雄 由 風

信馬のかや 同るが地位のないる。であるのであるまちて はうせるかととしのおけれるはちとは人になるとめるう 00 ナモものでかったっているのはのか 聯 是張凌智明 縣 倍線經科部 近江伊香即 つきのよりなった (のからちゃ 老手先 宜門

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

きてきりけいくれ 安徳をきらするするのけるである風のちられる めろろは水ちゃ よっちだからそのまのうとくそうとんできのかっとかっ かとすらっててむさられのとちよか からいまいか そうそのないこうちょうなくろうかろうないろうとという さのあるもろでするう のうんろうけきる人もとなる事やとうるるなが 水寺山城愛宮郡 ちていてきてはなりかにんか 40.00 かれ 甚 景樹 芳樹 常足

낭 旗 古寺門 った院 寺 雪 むのいろか はそともできなるからなるといるうられか はるかとあるころではいるからかえつきる くまでかられているころいろうちゃないからえたち はきおかかますからいでをうるとあること なるなやころういろうならるあるられる と関する日本で 〇阿弥陀寺長門豊東郡 〇古 〇横川寺 近經實那 院 大和寺野郡 砂なる 今五 客言テ 速磨 長廷 汎 体 钦

放生會 祗 ひやないまでのようとってなられるいかでるはなき 大小はませいて大林というのあっちゃや いとしてはきのまのまとうれてるかけてるそれがはならめ うついらいたのかっけらまうきゃくいいのうなからうるしまれ 古代をいているはればりてんでありまける まかかさのよのみなかいきはける 〇 賀 茂神杜山城愛名仰 〇出雲大社出雲出雲即 おるとてあれて かられて見てい のないないとのいろう 精足谷 梅 友 升

野岩草 福息息十 ときるのかいのひきりませてする上でのいまでけるこ をこれであるからいますかりとでしばりなみ するないとは接ちゃ 口石清水神社 山城綱喜都 ておからまするとうなる せつからかっておっての間になるかっ いけるそろ 唐 寺 福津八部郡 人智 特月在即南京 AND S のおうかりもちも 正方 長明度 完老 手

社 社 科斯 克斯 公 え 社頭恋 = 34 小学はけるかっ なちな 野の支がおり といるころうくろのおとかっきたやまかれるれるとい けるのかっなどうつるまでするなっとけるまたろか なれたのまつりとうくて およめきかったるはれるけっ ○祗 國神社同愛宕即 〇坑 さくまちのかのかとだらけってもしまってろう 摩神社 富山城為野那 あくなかちうできるからきあか 存るなるが事婦ある 近江陵田即 せるとことをする 竹月 然門尼

取時 寄馬恋 **科** 郭頭 競馬 加茂祭 花 恋 麻 一ちのなうのかできる猫のなっていのうかつて であるからうるかなこまがなくもろうときれ でからからはないのであるでいるこのかけるまた ちょうかのるなかまうとかのなけれずを休ち などれをられるろうくろうける そうかからったってきますい そろぞうないというころくなく さると変かられるとしなる方位のまからねとも 一萬城神社大和萬上部 くのようえ事のできいならいかくしいかっていりと るしいなからいまないっと 教でからかのそて ませのか 类的 君寺 前大路 特件件 竹施 名下 惠林

杜剪七 社頭月 恋 しゆく人のおめまるそう むちかな日のかけらいちょうけるかったろうそろけるな 我とてる 作すれるはいとしていっているこのなり をからのなっているとう事はいもろれん ないとうできてすくからそんのはのできていいろ 〇和田笠松同八部即 任吉神社根津任告郎 もいれなかつきある あってあせらいるとかけるれるのだね やいるからか 2 实施芳 冶

日吉神 日吉祭 社頭衫 抵園社 徐 私由會 神 夜 祗 恋 からあっとかずつうてはなのようけるからなってすつい 三個の山村の天内でそれの 日のおから いくうとなるようなとうで そけなのかのかのかかりますせんべて 村間ようかのくとうけらうかのまできるとなん 〇日吉神社 近江志賀郎 〇三輪神社 大和城上即 はってんきうきがらきむるられな すらばおういとうでいま らまうろうかしたいいろう きるをきくないい のから 老一八八三 直通

隔点過恋 通義家 名所 名玉松 隆異 五人の六十個子 なのるかけちょうれのためからる いかさんけるのや 美はます せつずいちにようようなまするないかってきないすっと さのとはのうちのというとうかきそくかはあるかか いいのますっていてくまさしまでしていわいいとうとれてきてきつ うかろうからでのおしていなってもあっしたちのい 手 批 松 くなってのなりまませるい すればやとなるかまして 陸與 何 同 那 持持 当時 學学 官 苦 显 質 秀 松 实 文

河外登 月野 震 遊上童 問 恋 わるとないうさてなるとのとのよろをよったのける おうとうではいいできるのかのちゃ 一支持の父の七十度日本犯 便をおよってかきちゅうちくさめるりるち なるるなどもつき川らまるとはなったか さるのであるではしてこってないとも 字はいのたのかあわけいうまともにかとしてうるむ 〇龜 〇高 砂 そらずなるなるはではかかち 石 機事力かち即 山城宇治郡 おなっちゃ 名ラ大四 あり、種 為悉 故 羅

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

频政卿 烟 我的三位の一 そはまま 年ぬり となるれそうにかっちのおけるちまなるなでするとはち 若食 がまとはけのではならことのいうともなるながでするとなれ 〇廟 妻東関之總名 芝 城宇治野 それておきちなったるん Both Carlotte らてなのかいちる っててそくい 生をなん 常 明平

寄火恋 較遺火 悉 いかならうろうちつないのにははなかん 日もらせあけく かんろ けどいかのやますような一八種子うとこのなり大 ではいるるかあるころい 相ちるままで アイであったむろいい 〇室 八直四下野都京都 〇銭 えるはけてもおっていたろけてあれるころで 紫 きなられるというとうとう 西海道之德名 のおはいって 山港 京極 聖中

名所松 松 えかいたからろないとうはしておれかるらまるという きちち方のの川のちゃくいむをきなしきれ まめつるやの国語的であてから それともといれ」ともであれたみとのえているの月 なようなのできなりのから 天橋 左丹後與湖郡 おのないではなっていったとうないという にいるころえよりかられる 保 大和添上即 そろころ女神 とてきむっ 大小ので 南 空河 最级 森 恆 豐質 村

安部作 寄並恋 お子をなってうたるったといるとにはったよ からきかのはそいっとものものわられの日 さそずるをれなう からてはる人 なっとうそうな合社はあるつなってのわな をけられらりまえいれどことのでのからなど大学さのあ 必次方ときてはなべく大きからはあ 子子 門亦波松 陸與東京即 まるかがりつきのまるくおとむりくろう うな刷のるとも 今とうとうをは国田のようちんろ あるけるとうないのかるのおろう のある 名二万次 長日 美 東 尊澄 廣臣 長孝 惟 直 磨

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

阿此 精衣 首页 班は安全は左島屋野の記書を大明かるとう中と 就後周保田上割りなののうなあるとなると人間からきなかい ひとしてはかいがいろうとういけんのかんとはなっても 中文の方方本本祭の中 ではない」まないの一のわめいとうけるころながという 村はことというならめのわけるってもかったのちると そうつるではの話とうないちゃそのなられる 〇夢和太大和吉野那 〇遊 〇三 度 栗 越後薄系即 大名 馍

湖上 霞中花 春 杀 月 櫻 近つ園多なの社場良盛年了ているます するかからこそことですというこっちであるちまかといろう それはのであの村上からするかいくる この地のまではこにいくといることかのものいなうな いたのちたならからのようとうできる 人はいりからでははける方人のかけるりる やなどくというのけったとせいけのかっちゃ 按 源 近江流賀那 八枝をないて出から そのなの月 **魔殿**想 名二下させ 整機 쓮 量 2

は多流はかってすくともあられてみむろ なるればときることのようどもれが抱くもな 多图》 て大小は名うな所のなるとるは 春的記載了 されてらないにはきあくるのできる らしそうなのではするれちるからいま 人のうむうにあるからかのえく古雪しならる もからもる 的時見出為 あるといき と見らい

湖上雅 山南花 志賀越 いくいまないいちをはちんなぞうとなるないと 市はのなってときくいってなかれつるちゃくの大きし こえゆかりまつきのいからかるできるいまかっても こんはことなることは中であるりは古のできまする るのはは、ころうできているものはのまるのす 極度をないっけ 〇志賀大和太 近江云質郡 〇志賀山越山城東京西 かはを行うとでいるかのなたとう 老三方次

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

井イ

祐氏 祐之 名亦歌集二編作者姓名録 道 幸恩 宇佐美 岩井陸與守 久松五十之助 河邊清意 花垣衛 平等院和尚 祐之 祐護 祐文 2 如 京 田 專 佐 岩之坊法 三宅太七 邊雄 伯守 念 郎 雄

坐雲大神 宮瀬豆 以流士の之後等 ちょ 何勢袖岡 まなかのでくせてい 源苦久 原い成書 免傷 笔

為平 俊文彦 作安 陸與位置 惟政三河西尾落 猶秀較河府中 音主版與信夫都 島田村出雲路後郡 出羽米次端 非學廣積 巽 今 大森善兵衛 中 吾妻壽庵 松木善右衛門 石金佐次兵衛 魚住 野弁之進 村 房之助 松窓 左 近 意純紅藩 為長 為雄 為忠 惟具伊勢為名為 熊臣五見木 惟長用防岩田 友助 八错野村 出零林蓉 出班米沢潘 京 水 髙 森 草 岡 江 髙 谷小平 木 H D 脇 野 屋 内藏之助 元 和 友 勇 記

夷守 有 落正 豊流 有慶 有文 和 伊豆多田 周防器系 出雲松江 岡 五十君又一郎 清水一右衛門 與五澤藤五郎 無清重五郎 岸本大隅 古 上早太郎 本 缶 男妈 一郎 南 有年 夷臣 雄飲 由豆枝 有祭 因篤 有信報後新醫 有 挑 本地鄉山縣那 心藝魔島 出雲站整理 江户 尾邻若古居 源上華土衛 松灰 野村 佐 朝 後藤衛守 松 松 本 并志津 本卯四郎 岡 居 伯長兵衛 田權之亟 名二下二十 伊兵 正精 健 衛 滅

本 豐時 豐房 白義 出雲藩 出雲落 松 吉 力口 大 松平土佐守 井 髙 出佐左衛門 藤 野 F 松 祥 河内 豐 丹 災守 弘 院 助 前 守 豊秋 豐城 保義 梅雪 包道 博鞆 房 純 有至村遠江及上即 近然和连衛 近江在根 香河村 紀舊 列後 美計加 伞 中 有賀彦太郎 4 山内德左衛門 丹 高 西 影 崎 橋國介 田 次郎左衛門 俄 女口 权

未要伊勢山田 允資 為重 末耦 方香 望見 徳江ナ 出现未次審 上野柳生 吉澤 飛 髙 菊家兵部 王上甚左衙門 佐 相 治 并伊十 岡 碳義 田玄 伊 勝之進 主 佐 郎 伯 馬 亭 望古肥前長崎 八十村 飛弊古川 来弘 宋壽 方貞 維 芳章 東 亮 落伊禄中和馬 切り村村村司出雲能儀那 出雲藩 日南延明華 谷 橋 蒲 益 吉 近 市 今 本用七郎 田隼 田 1 津 與丟衛 金万世 勇平 且 虎 太 學 郎 市

7

忠典 忠通 直道 直清 杜 駭 城里自川 長門教 伊豆長時 問防佐被都 動れ坂 石 竹 7K 多 渡邊又平 藤井又四 松平大和守 夫 野若狹守 1-内彦市 田 時 東平 近 太 郎 郎 ;I 忠周 忠俊 忠央 直驎 直次 直磨 直頭 馬防宮古歌 敦 化 城部伊新官 楊磨赤機協 **任明村** 任五君父郎 見張名古屋 肥前長時 水野六郎兵衛 水 態 濱 道幸小 渡邊惣在衛 鈴 谷勘解 村直次郎 野土佐守 本和泉

1 保秀 辨恭 本資 篤胤 篤 德義出雲循縫即 尹 形 高角社 出刊文係田落 尾张名古屋 出婚婦 備十宮丹 大 甲醛吐苗 坂 飯 平 大鐘與兵衛 真 藤 橋 4 田 Đ 本 E 内 島源三郎 田 林布衛門 内面 平 福 大 帶 兵衛 20 角 寺 介 粹流 本庸 德鄉 徳 ちく 平道 保 等 非 福摩落 京 福春宝津 你谁山本 土佐雅兒時 鳥取 籐 高 稅 武藤忠五 115 大 4 屋角次郎 井矢次郎 松源左衛門 峪 所良右衛門 名三下 住太

七

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

勇 郎

重容 足張大山等 重尹 重年 長嶺 長平 京 一宮 社司 越前縣以落 鄉自 鳥居嘉衛 島 鈴木越前守 堀 森川兵衛 鈴木善左衛門 速 田清三郎 4 兵庫 宇 器 仙 重速等 重禮 重魚相強油製漆中村此右衛門 重喬或數型內蘇藍新 長通 重熙 報神皇郎 中尾弥洛柳門 重矢一世後将當 長歲 出雪打箭 藤田勇助 为石勝之 千家統後 佐女木文郎右衛門 肠縫殿之介

忠顯 長延 長與 忠順 忠禮 城並敢月 江戸住 照河刘谷排 江か 紀藩 馬 黑 牧 水室豊 村 西 垣屋上郎兵衛 中川宮内少輔 場與兵衛 田金次郎 田甲斐守 上兼卿 木工 長温 長興 長雄 長亨 忠連 忠李 忠顯 号得水 金 和模力塚歌 伊勢久居藩 原田美 鈴木宜 國友 青 萩 東海林又右衛門 山新太郎 森 川隼人正 半五 剛 郎 仲 藏

1)

良種 良道 利 利 竹響 智信 記 才口 Œ 級恐浦 指磨水料排 越後水原 江方 起發強折 犯落 岩崎 都 森 吉田長右衛門 津村室衛 巨勢日向守 市 井 E 上 島慶吉 仁充衙門 相 治 鎮 部 摸 pe 平 良夠 利純 利旅 利 利 陳 治 彦 和 2 格 福津伊丹 英潭高項 遠近森町 **检查报外** 美機務有 出雲行發 中村孫 威 吉田房七 小野户右衙門 吉田嘉六郎 岡 務慈獎之 告 問官 見治平 德 驗 25 郎

重孝 重好 重件 致恭 先 神宮張津島 出雪大社 是欽思月 江户 位潔古蓝 周防宫市 服部 那部光藏 山田親之助 鹿島伊在衛門 尾 石 扎 大野木座頭 川大右衛門 古主計 島 義內 豊主 知良 重廣 重教 重数 致遠衛軍伊丹 珍 致敬病門問即 清趣性質或 安華為即 近江房根落 河合順 小日尚新 取部产兵衛 三島義物 伊 並河茂七 井上長京衙門 池上茂兵衛 島又兵衛 名でなか

孝證 高英 孝 孝 高 高世 高門 康純 伴 飛彈古川 但馬聲門 出雲林茶 选以大屋 聖被抑禁 向延嗣城走 力口 渡 栗田三郎兵衛 物集文石衙門 京 有馬左衛門 邊 島 納 林 極 善 逸 石 六 共 記 六 門 部 佐 孝澄 孝美 孝壽 高半 高豐 高道 高文神全部干 高 之 紀伊若山 明中村 如户 出雲料茶 江中 XII: 增 10 松 祝 今條 定右衛 カロ 猪 水 藤篤太 島 何 谷 森 部 27 太郎 惠 長 河 左

オラ カ 倫方 隆綱 良容 消磨 亮長 瓊珍 近户上野 政伊高野山 典 水 黑澤八左橋門 岩倉法衛門 佐女本忠兵衛 功德院大僧都 田 重森六左衛門 山寺 中 谷 退藏 曳彌 治魔性绿土其 亮雄 應智 侶文 龍文 亮 良春 康 見張光古及 边勘封 宫 松 藤井尉左衛 木 井 四方安之 今泉與曾老衛 山 村又 上进 本 迫 名二下,大五 間 梅 源 防 強 助 助

A 19

等正 越後篇原即 道 道 戒 聚 言伊勢松坂 大字探村 高田 西鄉島班 紀伊思 灰機多數町 業合 那須小八 兇 善 安富作兵衛 柏淵縣左衛門 桂 岡村與一克備門 東 性 念 右 郎 寺 仲 吾 院 道軍出雲廣縣 道本 道古數問那以 可陰 道忠見與名言屋 容盛六所宣報主 校 俊 土佐藩 河内久宝寺 大坂王佐 JE 楠 指 内 猿渡 松野八字衛門 森 内 上寺所 藤官 近江守 新四 忠 兵

夏落 幸文 幸雄 雅 秀 TE 水户藩 中黎智市 六十二谷 大坂 長尾 客 堀 森 前 肥 華 久 4 木 是安 岡喜源太 田十 岡 中 本 田 文 民 安 健 Œ 大 藝 藏 撤 助 夫 藏 京 幸緒 管維 夏見 幸満 荷 雅 雅 綱 殿河島田敷 如泉石田 脈部千左衛 笹 寺 枯 德永十左衛 都禁九方都 吉田九郎右衛門 大 股 澤 住 名二下代六 泰 来 衛 順

宗律 宗直 宗肅 節澄 等定 出雲大社 塘 朝倉衛衛門 4 村 E 峭 家杖代彦 村數馬 1 右衛門 文卿 退輔 朴 宗龍 宗深 宗遭 素行 則 宗穆 近江大津 起前小城路 京 出重美社 原 ツく 精谷幸 森筑 田 原岩 字 滅 堂

幸 被 效 備中長起 仲豆二鳥駅 近無意排落 常 武井 平瀬五左衛門 和 村 鈴建統前 河村忠右衛門 曳癬 野 田大 墨 泉蔵 平 宮 寺 藏 輔 寸 了教智事 節ラ 卓阿 當流 陶 大 大 成 簽 種 政 遠法見附取 五石田村殿河北東部 日向此問題 出看大社 天日陽宮御 井 寳 樋 完 省 堂 4 口英吉 月九八 村管 13 名三下大七 福 光 平 俊 寺 内 郎

廣名 廣伴 廣海 光發 薰保 廣里 光鎮地前長時 薩拳 在原村市 p's 藤村庸 廣 平尾蘇之丞 解 131 il 今井四郎を衛門 江 瀬 栗直 鞠 勇 惣內 右 平 舜 輔 仲 助 光德 官敬 廣 廣治 廣勤 和 和 光 男 淵 幸 暢 大坂 作製山田 出雲藩 古 出雲於禁 豐前筑機 安 森 富田宇左衛 末村庫七郎 鈴 カロ 大田 木 E 藤重太郎 本物 平 博 元 市 善 大夫 亮

7 未 4 1 4 賴德 泰當 能知 務 浪雄 年高 通庸 城主人告 學是法間 京西六條 雅 知干 出明米響傷 米 縣田喜左衛門 佐 石 本 **李顏寺大僧正** 加藤宗十郎 相良志摩守 ~本對馬 井 間 田熊太 半 忠 助 雜窓 類定 光隆 能舊 務薦 年色 通氏 速 雄 各勢山田 出雲廣瀬落 吉 森 福 井 河崎新之 神 松 女口 田 村 H 上權學守 珍八 平左衛門 上去衛門 西 名二下北八 醉 市 太郎 郎 朝

言林 敬彦 慶明 顯平 建男 景之 連 愿 近江西井寺 大两大陽郎 衛中灣四郡 犯神田邊 尾張津勤箭 雷水 江户 出雲科茶 中 間野 F 田 雜 桑波田龍 奥山立巷法印 氷室光大夫 村大和大禄 所 月 大 部 轍 郎 院 雲 玄壽 言直 敬儀 謙庭 顯孝 類祖 翹 建 T 右田社司 京 紀著 傷門·養女覺院養律師 荒木左 瀬能古次部 猪 渡 信夫真五郎 田 本 苗代法 遍五十 居 山 從 兵 橋

5 + 寛敬 經德 元氏 堂虎 景恆 空 元與 綸 出書葡 京 江中 大坂 伊豆多田粒司 中 梅原 外 亚 杏 官崎與三兵衛 真佐木利有門元 北條播磨守 井 傳 山城正 藤 神主 支 兵傳 部 七 元 野洲良 館 景秀 經 宏年 经 重 廢 平 雅 江中 問法問 治性 名英美 並結婚婚 府後門稿 出雲行禁 心即 原田庄左 田 白 松 宫 關岡長右衛門 吉岡定方衛 藤 中京东衛 尾 图 To 11 名二下近九 真美 東 良 遠 衛行 1244 哉

國 が上 古風 恒 公成 公綽 弘高 弘鐵 雄 德 長門落 京 声 商與嚴 心川原村 本 北前長崎 殿河島出駅 速至掛川駅 * 長 蘆塚五郎助 冷泉信左衛門 遊谷彦八郎 桑原清左衛門 大石清兵衛 廣 图 春 主 稅 龍 寺 與之 厚生 克彦 古為 恒安 公章 54 弘道 濟 肉油溶 伊勢山田 與谷松江 推摩山崎 出雲落 越前教育 外外衛 6 根岸大东 安井佐太 中 森 桃 原 市 田権左衛 西 左衛 三左衛門 長 大 貞 衙 藏

7 嚴正 福守 武清 文城 文明 業廣 兼章 肥前表情 此何谁亦即 西北井村 祖縣中北島 尾張清清 福津伊丹 肥我善 掏 早川清大 古 di 廣江和大兵衛 横田勘左衛門 高永武之 矢 川敬之介 西新左衛門 池三 田 慶 助 可山 弘魚 富重 武辰 潔夫 寒章 京营 女 衛 利 伊势山 福华伊丹 出意科藝 遠远潭松基 一名朋方は夢 西福島灰 水野小 足 島 闹 星 村 松 代 1-野 田 名二下平 市之 河三部 左 == 右 大 = 郎 京 郎

超 定 定 定 貞風 貞懿 敬 部 **经持社司** 加户 グア 江户 肥黃佐賀菊 中國首都 覺 管沼伊賀守 王 栗 隅 羽室平之允 11 中 崎 面 E 良三郎 成 出 鷗 和 羽守 寺 鄰 助 IF. 定賢。在中 諦成 定經 定良 貞兄 貞剛 貞幹 朝 恒 七将村政赤 江户本郷 河外若江郡 因情 癌 讀谷山 法 塚 山之内金之淮 臼 有個種在衛門 U 村俊藏 為五五 升 源太郎 泉 彈 王子 寺 衙

テ 工工 貞固 負皮 延年 英至 永古 圆] 五泉町原町原町 535 此任意根藩 上久點村神主 出雲大原郡 出雲打裝 村 勝 檜 長 和 谷 瀬名源五 青木大宫 部勘解由 田 谷 泉信 垣 崎 年太郎 神 勾當 主 司 主 平 我 英棟 風龍 延之 真臣 演暢 真著 水 自 八夜村 出雲松江 河均河内郡 横瀬駿河 平 生 西 安 甲 松次即左衛門 村德左衛門 田重兵衛 本女 村 名工學工 五 可 寺

久恒 義方 我正 義行 我 通 上野高等番 大和奈良 山城《世即 遠江金谷縣 學後剛城出 佐古村 北海湖島 河 高 中川佐渡守 吉川一野衛門 豐島卯 宫部孫 福山敬太郎 内施五京大夫 島 田内藏介 直見 助 義行 久 久義 久守 義猛 義隆 義夢 義行 忠 伊勢守治 此此為為原 如果具場 宇 告 中村隻衛 113 中 佐 小島金兵衛 野肥前 川佐左衛門 治求 名拿人 田助之鱼 户 玄 馬 階 守

サ P 安战 安 安 三 滌 影 福原經路道 多龍神社神史 長門潘 秋元 細野 長 14 静 30 本居小次郎 串 本 唱 肥 E 麻續主 官 幸介 後 郎 守 翁 情 安 安魏 三鼓 安 粮 唱 三 體 3 強 眠 雄 信 近江水口 大治湖 北伊美族野 因僧島取 堀尾紀伊 米 渡 真 佐 池 江 美田儀兵 本忠兵 森德 鍋套看 名三十二 太衛左衛門 右京大 去 衙 禄

× 親馬京 親繁江户 民雄京 草壽京 王村智高歌 直製 鹿 死前長崎 由良信港守 渡邊若衛門 三村五郎兵衛 佐 與平大勝大夫 竹 市川喜十郎 伊藤正右衙門 保徳兵衛 中 越 中 昌孝. 親愈 親民 晚阿 親昌 明真 龜文 金陵 遠江小沿 **海米坊** 伊豆石次郎 **治養飯田城**連 門波總無 駿河沿湖南 北 本 高尾點多衛門 海 堀 龍 小老五郎左衛門 杏 島 田 美作守 西 四郎太 題 光 鉄藏 秀主 寺

海笛 煙典 近友京 御鄉 日境系形大物村 近夜村 半変月 原、 岩垣大舎人 風見一之進 甲田猪布衛門 後藤與左衛門 稻垣次三郎 長田主方衛門 右近将曹 記定 新左衛門 少先 御牆 古満 洪图 躬之 李文 基廣 因儘應 布郡福富 江戸 か製金墨 布施虎之助 林 田 别 溪井十兵衛 北村再屬院崇印 並 **及成局左衛門** 4 火治部 河纖部 甚右衛門 名元野三 矢

信美 信 信順 真中 暑 頭影行殿東即 駿河全泉 伏見 五富利主馬 鈴木鉞之丞 渡 中 今 本本出郭兵衛 山東市正 邊五郎次 堀 金左衛門 THE PERSON 連 信芸 庾清 填平 真中 信輗 信蕃 信古 信覺 能推德 衛衛村 犯伊龙草即 透江濱沿落 新華村川門所外列即 红大塚川 我前太宰府 水 岩 佐 前 本多玄確 清水善左衛 長潮真平 野志津 熊次左衛門 政要吉 術供屋坊 田作左衛

昌誌。姓枝頭城即 真欺皮 真實 真珍 真幸 昌藩 **赛美神主** 和田村 近江班根據 越中富山嵩 佐倉 濱 中 河 長瀬七郎平 池 大雅友方衛門 野忠兵衛 田 北奉樹園 野 費 貞 矢 共 貢 御 真淑 真顔 真鋤 真嗣 昌胤 真純 昌守 紀伊指 長門 15 44 北 静 高 清 大 110 推 木 田庄兵衛 水嘉兵衙 問 谷 橋 名 嘉兵衛 名下計 佐 岩 要 雅 1: 兵衛 楠 總 助

常樹 曲 尚 常旦 常達 春木 澄 桂 山聖珠社司 日本山田 伊強字智器 伊夢津蒲 - 野安中蕃 夢宇治 中四内 藤井槿大夫 若 蓬萊小 伊 波多野 久志本神主 芳賀彦大夫 芝原六郎右衛門 藤魚 松 、駿河守 和相 典 幹 沖 尚貧 常雄 常標 尚 常朝 春重 春史 春樹 规 四根封多郡 美野下奔村 補電本橋即 長門茲 紀落 森 塩 E 島 小西太郎兵衛 熊田堡之助 水 村又右衛門 中 野九八郎 宁 113 安三郎 次 梅 順節 郎

信 俊 俊 秀臣 秀形 信威 组5 **小智张社司** 長門落 田中村 並江金谷駅 紀伊日前四 伊豆田方助 近江煮銀流 伊 鈴 栗 鈴 飯 紀 泉外一 庭 屋新之先 田顕義堂 田 人人右衛門 喜 松兵衛 大藏 右衛門 夫 春野 俊之 俊榮 秀海 秀親 秀雄 信 俊夫 伊越山 出雲大社 安藝殿島 西之間 岡崎次左衛 岡 喜 桐 捺 葉 家 河 3 田 名云空里 姓 람 弘 外 新 亮 達 記

淑 勝文 實道京 松根 文 伊勢山田 越後高田 武統八問即 那磨赤糖和 久居潘 書 井 费 古 高 古 西野 涯 上多 田 田 716 相 頼 左衛門 寺 助 谳 資忠 舍柱 華 淳信 苑 諸 周 典 史 神常事私 北前夜時 遺红金谷斯 池 佐 石 田書三兵衛 塚 内 田 伯 林 井 練馬 右凉 主 井 夏蕨 周 枪 潜

尚 良 近江赤松島 名祭田九 寺山 見 稻葉秋 瀬 小津新兵 飯 橋 川慈三郎 田 面 田 儀 長 啓 官 衛 助 輔 玄 仲 守貞 宁 守常 時賞 守 尚 精 杏 城 亮 親 島 佐 满 林 井 掛井宗右衛門 田西市 谷勘解由 4木泉主 田順左衛 面神 田惣平 安五郎 名二丁中六 佑 主 門

4 茂枝雪盤級 茂敬江户 茂俊京 政 茂 永 叟 稻 伊勢和极 近江港所 三河梅豆路 菊田善左衛門 野 坂部弥八 筒井源太 加縣真藏 竹村平右衛門 河 坂田特兵衛 原 村 华 静 郎 郎 痛 茂殖 茂穗 茂濟 政邦 茂廣 政 政 昭 臣 见 殿宮村 伊京小茂郡 指京知此堂 八幡林坊 大坂 聖後四城 殿村丟衛門 松平 髙 肥 柳原式部大輔 持田九部左衛門 曾根精十郎 近藤青衛門 橋 田 對馬 春 治

モ t 茂雄 變成 野 上等 生 藝 40 近智賀町 大坂 出直廣遊墓 吉岡伊和 渡邊治右衛門 林 檜 長 足 真 羽 田作次郎 可常音 願 周 唯 助 美章 種夏京 學雄 美茂 地推 壽 茂雄 浅如村 斯 N. 新知 深 森 七里多次京衙門 高 竹村平台衛門 营沼頼 野 矢定新兵衛 四本部 見 名三七年三 孫 雪 橋 田

TE E JE 正 TE 盈 帥 勝 德 幹 路 出雲潘 伊勢連 安藝廣島 其旗大垣藤 伊鐵事多即 紀伊在世間 P 未田勝次郎 北島治兵衛 横地房之丞 高 雲井勘三郎 林 植 木孫太 宫 村 春 新 金 南 祥 正柔 Ē. JE. JE. E SE 正 胤 Ŧ. 举 興 標 明 紀伊老 五河前遊 中勢松城 長門藩 À. 推前小金幣 強摩籍 尾照神中歌 岡山彦八 濵 柿 宮 利口 カロ 石原喜左衛 島新九郎 並 藤 田 段 市 治 慎 太 郎 作 日日

INE. IE 昭 T E 範 臣 雄 方 長門藩 官本村神法 伊豆熊拔 伊奉山田 是作古野郡 伊務於山藩 佐 服 竹村源五郎 魔田耕之進 内藤甲斐守 梶 中村格三郎 白岩磐 原 部 伯 鍋 里里 圖 書 根 古 正煙 正爱 正雄 正方 正美 IE 全 JE. 一孝 北島園造 秋 1 华泰山田 江产 精中軍馬 赵前南倫部 富山 引入 廣 安原勇藏 佐治源至南門 香隅宫御杖 高井熊八 藤頼 H 平 名二丁二十八 新 左 五 河 京 部 母

聖阿 清成 清平 其 久英賓 小 **建野** 完道聚年即 安華書 出雲廣鄉藩 近江意形器 青木 橋本縣右衛門 坂東貴之助 岡 大 夫 上木甚四郎 坪行造 田清太郎 野 願 平 54 輔 寺 青海 清足 聖談 清雄紀祭山 清庭 那 月防老国 **西豆果沃那** 遠江金谷家 見落 JE 賀屋有隣 河路左衛門尉 + 山田數方衛 加 极垣無妻衛門 里子 屋伊八 納五兵衛 峭 佐 VE 門 郎

清里 清根 清厚 清直 清餐 風 輔 原本村 伊勢山田 京此野社 三班社司 甘葉字智 土佐種崎海 伊勢宇治 松 御 P 物 大 大 荒井清有衛門清 本孝十郎 橋元績 崎惣大夫 巫尚書 清名進江棒原即 堀 上河内清房 園 F 輔 坊 清躬風歌 清明京 清養 清風中東大州落 清 屈 八都容益日 職例者是歌 門波松島街 此葉 三井傳左衛門 河 近 久保廣夫 若泉良左衛門 大塚林左衛門 藤善蔵 村縫殿介 條文 11 源吉 堂

名三下四九

先進 秀 詮 晴茶 紹之 宣武 犯篇 近江蒲集郡 安養發島 越後在两衛 寺炭郎兵衛 瀧 類見珍左衛 久保田源太郎 堀尾兵吾 松尾啓十郎 島村庄 里隼 彈正 司 月月 精古 成美 鈴茂 腈平 紹雄 宣陽 宣麿 大學者能問 英東石津四 孤該社到 本对點相 伊勢山田 野野 紀藤 近出高局部 宫 永井 佐 佐伯三郎兵衛 河北助大夫 青地久在衙門 高 該 心 野教 為内 記 方 大 7.07 波守 嶽

盛業 善應 盛稔 4 舜 盤 神立村 出雲出雲郡 長門藩 六 智神主教 渡近江守 近江彦根藩主 伊勢宇治 f 完 大 勝間王権左衛門 田澤無三郎 栗 廣澤久右衛門 成九 國左 田土佐 見 壽 内 郎 守 盛継 善朋 善苗 盛次 盛臣 5 足 郷 外官在司 五九村 五九村 伊豆田方即 造江向笠 伊豆飲板 伊数率著 7 西 音 芝 白石勝 才公 句 坂淡右衛門 小野塚高新門 申幸次郎 典牧 原養藏 光 名三田五十 源 太 寺 郎 助

我子 古子 清子 幸子

3 女房 藤木信濃守女 與田九一妻 片山景兵衛安 石川主殿頭母 山本五郎其衛妻、紫殿母 集港市丹

かりよ

親子 守夏 京 京島原 京

易 上田龜齡館女 則

上土井村 一次風 室井 高垣之方衛門 秀

ス

金水作學與出著

極口九十九

水足 是 F

3

賀彌

内

名三七季

かつる

走車馬到落

上村三郎左衛門

橋本伊兵衛妻 小西新老新門好 巷 助 山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵 『名所歌集』

旅門尼 性清水湯 金子江户 たむま 田鶴子 海子 れのよ そつみ 聖玄奈 江户 五少 追請川默 江产 是藩 武井正景 并岡友仙 据 平七郎女 和 潤井與兵衛妻 今井太十郎妻 竹內玄撮 好 窪田助太郎妻 田齊兵衛安 -型 勝山 ゆき子 多米子 袖子 ゆき子 秋子 連子 早子 市場打 の出力 江户 江戸新喜原 伊豆熊拔 三河古田橋 遊女 三浦 類川時丸 岡部東平妻 倉鹿野喜兵衛女 田安家時 药也安兵你女 西村孫洛衛 太冲 母

花升紫 あつ子 鄉子 芝月尼 遊放日田 安子 法禮清 三保子門波蕾 さよ子 経番が致め 遊學落 乳伊若山 重出 稅所能若衙門妻 飯村半蔵 好 川島伊三郎母さち子養養 松山家侍女田衛子心華大門 据 尾平十郎妻 栗山駿河守妻和泉縣縣大根並 安田長穗妻 作者 橋子 花子 盛子 学作者七百 早三人 門被潘 肥前長時 堀 近蘇光輔姉 神 真野氏女 高橋虎部母 華 江善太妻 岡准平 田内正妻

深見之 百久子 糸子 清子 鹿子 安等 圈 為李 子 因惟備 十家司造 野殿橋整 近江京林 石見洋和野藤 周防董道歌 近藤健純 上田五水水断門女 正宗伊助 村田猪左衛門妻 出雲尊之宿亦母富子 神 洞并雅樂頭点清女 小野由之介母 且平 处 贝 女 鎚子 きち子 からろ デェチ カ根子 梅子 たきさ 華福 歌 佐州郡 但馬豐開 出雲大社 因情島取 此江林原取 短葉 城性 域性 華問准平妻 掘家右兵衛 神告新右衛門母 出雲斯澄宿松室 大谷文次郭妻 保田長左衛門妻 松浦弥三部妻 華岡直藏

名二九五十二

ホ 7 北口長直 安田長穂 望月長孝 那谷寺弗德 福瑞寺東溪 本居實額 大塚百之 森本汎边 大搞長费 平問長雅 栗田土唐 松平忠昌和末枝 两 平保智 牛田豊方 岡本保考 妈尾房守 想并田忠友 下河邊長流 羽倉東唐 鹤奉戊申 賀鳴長總 木間保之 高林方朗 河野總能 小野忠盈 中山長彦 羽柴長啸子 有賀長収 冏部東平 尊光寺風缶 小場保成 山田百枝

11 1 山内繁樹 小澤廣卷 安部惟真 伊藤維植 野口友直 植松有信 學園寺祐俊 凌雲院流海 森 熊夫 小稿一之 立石惟直 田中芳樹 上月為彦 石川依千 西浦祐賢 熊代繁里 富永芳久 的場惟長 森 為泰 小澤雄風 福田一門 岡野依古 山崎繁平 長治祐義 品川惟明 本間游清 神野易與 柱 伊東祐根 福井芳秀 細谷為由 長澤伴雄 有彰 金元子

72 タヨ 真教院了部 十家尊朝 宮脇道門智 沙門海量 松田内直 小泉康敬明等海野幸典 山田嘉猷 釋地寺學出 大德寺大綱 渡邊今網 本居內遠 高田與清 三田村賀豊 問部孝之 孫美 松村容隆 諸熊好足 常樂寺遊空 東海寺泽林 本居大平 **稻葉幸年** 赤塚孫重 河村孝正 瀧原宋問 造業術和車孫 中西多豆枝 小林大茂 藤原朝臣道貫 古屋管賢 **季**两雅足 楊 孝平

7 1) 石津亮澄 藤井高尚 神谷重舊 千村仲雄 宮地高脩 中村良臣 臼井治堅 西田直養 大矣重門 岛 正宗直胤 藤井高雅智要鈴木高新 中村良喬 松田直見 三井高国 野之口隆正 重老 小原良直 岡崎高重 荻野重道 青山重成 山名直豐 竹内直躬 正學寺物叟 熊谷直好 八田知紀 山本重智 沼野直道 常奏寺夏海 井上高新 夏目我唐 石塚龍唐 第一下五十四

12 7 57 岡田弘道 足代弘訓 林鄭主 乾房原之 沙門製中 竹村景久 演武元興 市岡猛透 小谷古蓝 矢田弘岡 小神富者 并上文雄 務藤彦麿 仲田題忠 香川景樹 深草元政 鈴木 古式 勢地武保 正學等於乾 佐草女清 如納兄親和蒙 田所頭周 佐々木景欽 小林元雄 小出文前 太田公美 神吉弘範 津守病於國禮 三定經香 玄青法印 長尾景寛 戶田元兼

クウムラネツ 富極廣落 岩瀬廣隆 加藤学方伎 田端年舊 正本通竞 上岐光秋 長田鶴夫 清水光房 城内廣城 真法朱廣蔭 芦田鶴雄 中鳩廣足 畑 秋山光彪 指強通孝 纖 皆原鶴成 伴林光平 塩路廣副於有 平野廣臣 秋原廣道 鈴木 妈田车是 久世光枝 朗 小野 高田廣端 福田和夫 近藤光輔 清水宽和 城 廣門 衣川廣滋 飯田年平 名二下五十五 势

シメ 伊藤常春 岡部真淵 山高信壽 佐々木春夫 山村尚能 加藤磯足 中嶋宜門 守静 能势春臣 村田春海 竹矢信昌 早川真學 結城秀雅 殿村常久 寺澤 明 前田吉年 紀朝臣尚長 飯田秀雄 岡原常嶋 辻岡信道 格白真由羅智 鈴木春舊 本居春庭 中村喜信 久交守一 梯 長谷川常雄 伴信友 河野马磨 宫本春延 村田春門 山田尚忠 師古和是城

+ I テ 殿村安守 松村養質 青水永幸 源朝臣真隆 野澤盗謙 西村久洋 冲 安衛 户田泰光 堀尾貞恆 山田久臣 馬田永成 宇治久老 演名義方 野井安道 山田遠貫 山本李康 吉田安年 村社義門 小津久足 駕見安款 源朝臣定信 田中延香 伊月久影 生源寺希烈 田中延裕 水騎久道 王置安緒 長井定燈 中尾義稲 久世安庭 安田躬然 大塚形恭

せ 垣本雪臣 喜村正教 大林政勝 前川正就 中根正致 久貝正典 江十别 口放樹 山本正臣 岩崎精芳 伊達十廣 加藤千栋 古田正維 井手正紹 新見正路 本居宜長 城戶千箱 稻葉千枝 天野政德 久保正臣 山田小稲 山東正周 中臣正舊 鐘縣善趣 大石千引 矢野正胤 尾崎正明 据是生津营 增田昭信 賀鳩政延 新居正方 松田善道

In. 柳田美郷 福田美桶 問所松樹 掘口種實 酒井胀成 前大路兼明 多羅尾氏紀 藤原朝臣純固 井上美稲 蜂須賀美記 伏原織一 倉垣俊雄 小豆澤縣貞 山田昌之 金剛院屋 沙門似雲 石塚資元 武津周政 坪内昌成 清水瘦臣 小杉美部 中山美石 千家之正 加藤枝直 岩崎美隆 津村古武 小倉美孝 中城後省 上田 大坪秋久 三鳩自寛 賀鴻濱雄 名下五七 穣

鸭瓶主花為 橋 藤原繁樹 橋 本 源 芳秀 福井 蘆巷小澤 游清水門 百枝 豊紅 作者 田小 姓氏 源伴雄長羅 楊路告食野 か茂縣五世 岡本 清原雄風 藤原豊秋 紀直流近森本 藤原祐根如東 初輪 小澤 源豊方 藤原芳樹 藤原保之木間 小野一貫 藤原方朗高林 高階房守無尼 源依平 石川 田中 源朝臣藤孝 源 源 平 福朝臣房躬 橋 芳久 易興 依古 保成 百之 两野

小出隆子 場間ます子 湯川かの子 白伯子さけ 田中清年 早川清魚 高橋盛之 總計作者千八拾九人 光明寺部子 水户家左近 葛馬妙子 羽倉た今 長江清海 本居清鴉 細田中6子 歌 荒木三野子 華岡多林子 高島大路 笠因清雄 古田源子 長谷川清秋 千八百六拾五百 川合建子 本居藤子 真光寺不好子 中 高內清夫 太田坦遵月氏 盛彬

W 2 平 源 藤原孝修 滋野幸典 源 源 源 深朝 是全網 大魚 應東 與清 高循 良直 有本 和田 海野 宮地 高田 田湖 禰 藤原朝民五大本家 源孝正 源 原朝臣康定 七年本 崇物技術 藤京幸年新葉 源 容隆 高梅三井 良為 松村 河村 中 源 平 楚原好古 宮母 藤原網提 源 出學術學遊 藤原林久 縣原年本 内遠 道 高門 門 大能 古川 宮脇 本者 北島 源 平 藤井河松花的 藤井 財多忠 平 雅典 源 车法 道守 辦言 恋麼 大海 油野 小宝 利田

源 源 丹治直對然谷 出雲重老 源 藤原隆功 是秋大川 忠姓 仲雄 直要 島田 山名 十村 初念 平 治堅 源重胤 藤原知紀 阿南拉多 平直見领有 藤原利高 不朝臣思學 為家 大江東平 白井 中山 鈴木 例部 H 千長廣 平 重矩 源 藤原長總 有馬 源直道治外 源朝臣東信南衛家 藤朝皇春菜 大江忠友的并明 利章 門脇 黑田 源 源直澄湯川 賀茂縣盖克 和田 紀朝皇重就在田 藤原棟隆 千朝臣全紀 光湖市 藤原長世 忠生中村 良臣 名下二五九 指標

藤原義局 橋 藤原大純 進張速安緒 藤原磯足 高防人人怪 久等 英為 關 祐 水船是 西村 か納 かルル 玉光 掘鬼 與井 松浦 源義質 大江時章 原朝臣義純侍奉 賀城縣墨屬山本 源 藤原真好官本 藤原朝皇太章者木 度會和數訓 佐倍 小林 松村 藤原 明 源義幸 就智·安老 字治 紀朝臣如尚 大神安守殿行 藤原春光户田 藤原廷裕 去部海拉阿 髙松 前田 田中 寺汉 源 本 点 图 差 元 賀茂斯麦样 藤原喜寅 藤原安道 源朝臣真隆恭敬来 源 久道 義龍 弘範 思思 石塚 門本 水崎

紀 越原字方伎 想積古式 出雲友清 賀枝縣重經青 三名 藤原光保 物部廣嗣 景欽 和夫 佐藤 佐禾 拉路 福田田 佐草 鈴木 か藤 源 平景之 藤原頭忠 就本种表現 源 穗積羽輕 越智恆昌 藤原文斯 經熟吉田 廣滋 衣川 惠川 仲田 出 早部元教朝倉 源 景久 源 源 管原兒瓶 加納 源 管原廣城 在原恆就 富春 開雄 光苞久世 城内 菊田 行村 光尾 小神 源矣雄 平朝 等 藤原彦麿 源 大江朝皇廣持 藤原和通 藤原武保 津安領外國體 光秋 名言六十 杏川 土坡 治林

橋 鼓高朝臣清雄 笠田 大江 源 藤原正經 滋野美孝 坂上真信 成良 正紹 正統 大竹 も田 小倉 前川 并手 城户 平 清海 源 器標於方 藤原正臣 源美記祭賀 藤原東至英 藤原濱雄 耶信 久好 塘田 長江 交具 安田 源正徒 千正致 越智干技 能野連正為 多治比美石 平 宜河 皆原雪臣 藤原清鄉 水野 香川 中根 松风 類水 源精潔 源 藤原正己 千盛辰 源 季朝臣正胤 藤原晟孝 正忠 美 終 13 **松**原 大知 蒙

源 神門臣守正 紀 藤点碧色 度會常勝 藤原縣全 藤原師古 俊雄 泰海 信書 村田 中村 **粘野** 大東 原朝臣信順 松平家 倉垣 久野 退行於首的 源 藤原秀和 平 橋 配 橋 枝直 守弊 春延宮本 秋久 修省 小 过 か藤 藤原守祭 滋野信好 源朝夏發尚 坐井泉 高階信恆 城尾 野臣朝**以**後 百學家 源 紀朝臣尚長 藤州智泰雄 周 政 竹村 北 級田 真田 藤原信義西川 源松樹 藤原常鄉 源 檔 杷 出聖清林俊信 有於縣畫州 尚忠 秀许 勝成 至下六十二 岡崎 明原 山田田 江川

明石泊 難波涌 千里波 老子物食 尾歌牧 船 陶 海 野 優馬鄉竹品 都会集 万葉泉 **学生浦** 清見洞 有度演 養養教 學 辛特 若松京 潍 橋 後給遺無 李都王就 十载其 伊知物時 後松建具 古今集 植骑 橋小門 田装塢 勢多長橋 白良濱 津守浦 浮鳩原 鳥羽田胡花集 玄《集袖奏 古今東 裁集大沒浦 £ 淀 祭田津 玉津鄉 伊势海 櫻 田原 渡 133 布動棋集 接日本船 拾遊集 万焦来 万葉集

稀荷山 手聞山 常祭山 音開山 石田杜 入岡 谷 地名 夫木抄 古今集 拾遺棄 李家教 古車部 万葉集 北 夜手杜 領谷遺氣 雪取山 箱根路 桂 蘆穗山常園表 淡明微 風猛山 玉東集 伊駒山 所目安 谷走海山祭地朽木构 山家集船上山 万集集 河口開 高天山 鳥部野 伊吹山 新古今東 伯者老 新校孫集 全東東 古今六竹 最其 琴引山岩區星記 武藏野 根宋山 清見明 稍待坂 新以館書 那智領 風雅生 久佐山 名下,本二 雪五年 4

伏見里 高砂松 飛為寺 有馬村 更級里 秋藤里 小野里 精安全集英豆野里 玉葉無蓝星里 夢和太 志賀寺 深草里 夜 難波里 都留郡 市 被支集音無里 千藏集 十就集 玉山湖神社 本妻郡 志賀山越 三去野里 世 大 見 里 初瀬寺 青寒里新檀文典 新智葉大宅里 伊安松智 古今来 传樂里 水分神社 橋 秋月里 木幡里 两屋縣 **走賀花園** 寺 拾炭集 延 天日本 五 本 光 和岩鄉

門工 六田淀 遊為淵 伊香福酒 布引龍 **腌清水** 鴨河堤 古今東北が一角太川 古今真 万、東集 新格道等有馬湯 百鍊鈔 万葉集 伏見澤 妈兼井 玉贻川 那智淹 戶難測 小餘綾楼 檢支拿 岩田川 古今集 万葉集 前花集 奈良都 大學池 任吉岸 田中井戸 熊野川 細 小出流多被 忠兄来 新支条者和外川 詢枯泉 万葉集 教检案 有找川 万泉架 難波江 班地官 益田池 尔保湖 松浦沖 石清水 金下公立 机集 根其

書林

嘉永七甲寅年九月

若大江京都 力 月

阪本屋本本衛門惠美領屋市右衛門 奉屋 英人工 為 原屋 茂兵衛門 馬美領屋市右衛門

伊賀風名所歌集 若浦石人一者 高吸い路二冊 製しまった 图号,六四

